

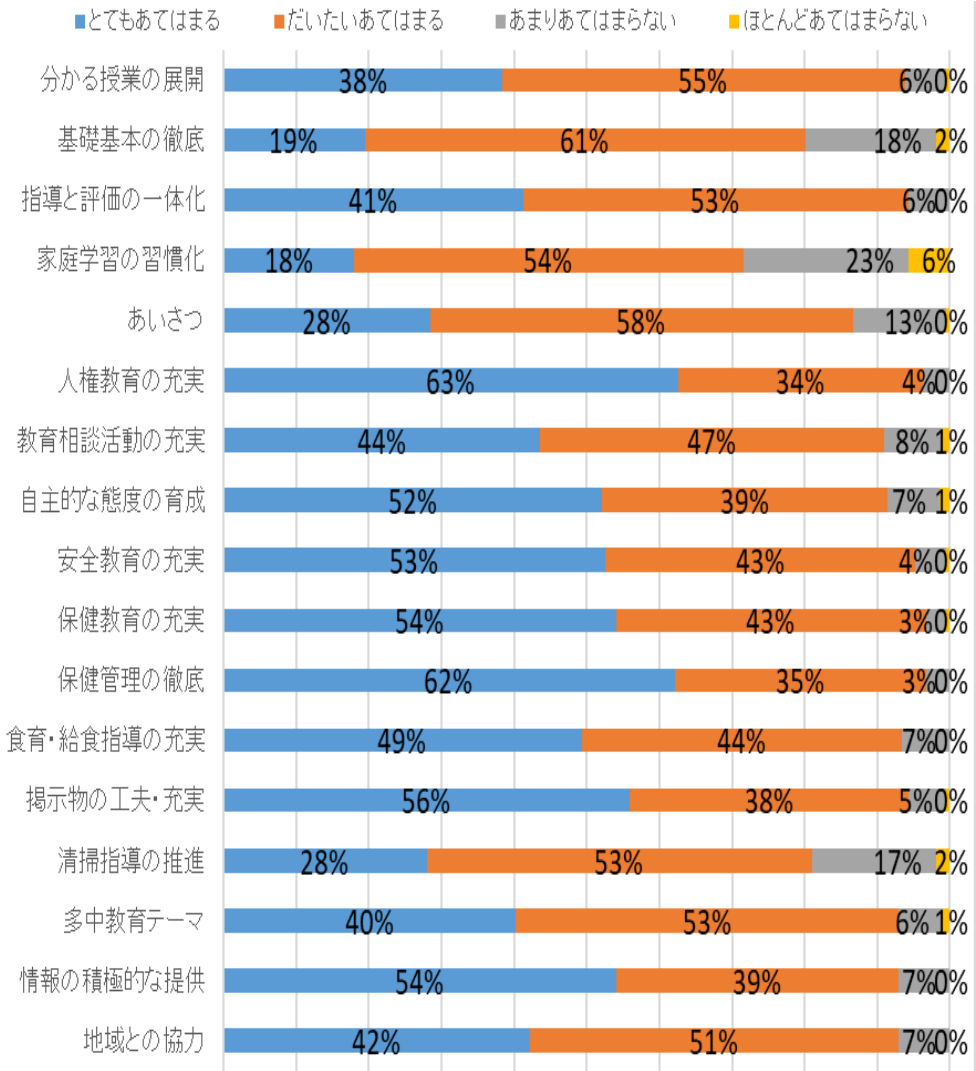
令和6年度 学校評価アンケート集計結果について

多良木町立多良木中学校

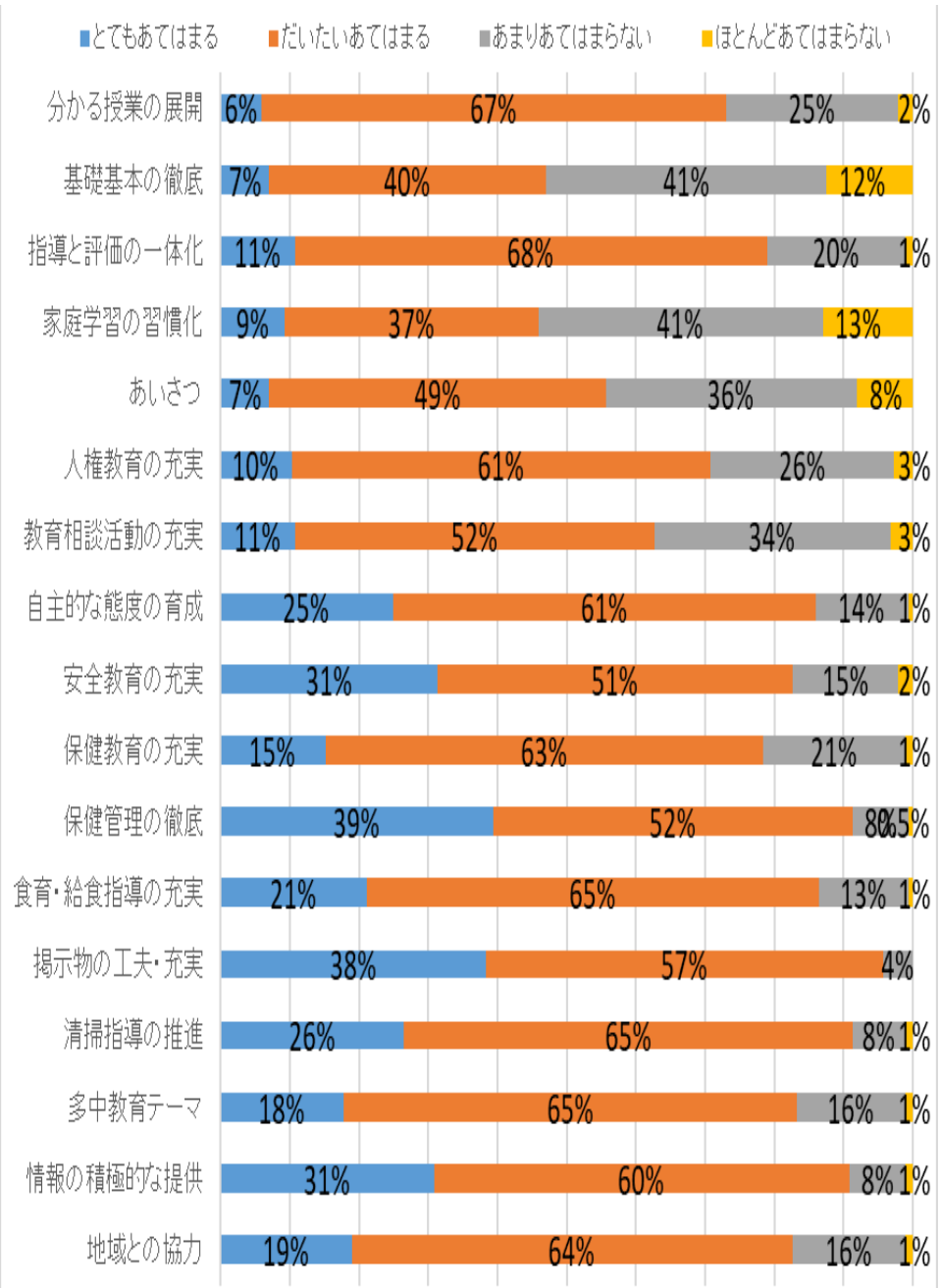
2学期末に実施しました学校評価アンケートについては、ご回答いただきありがとうございました。その集計結果がまとまりましたのでお知らせします。「すぐにできるもの」は早急に対応し、「取組の検討を要すること」や「保護者や地域の皆様の協力が必要なこと」は、学校やPTAをはじめ関係機関と連携して改善に努めていきます。

<※4 とても当てはまる 3 だいたい当てはまる 2 あまり当てはまらない 1 ほとんど当てはまらない>

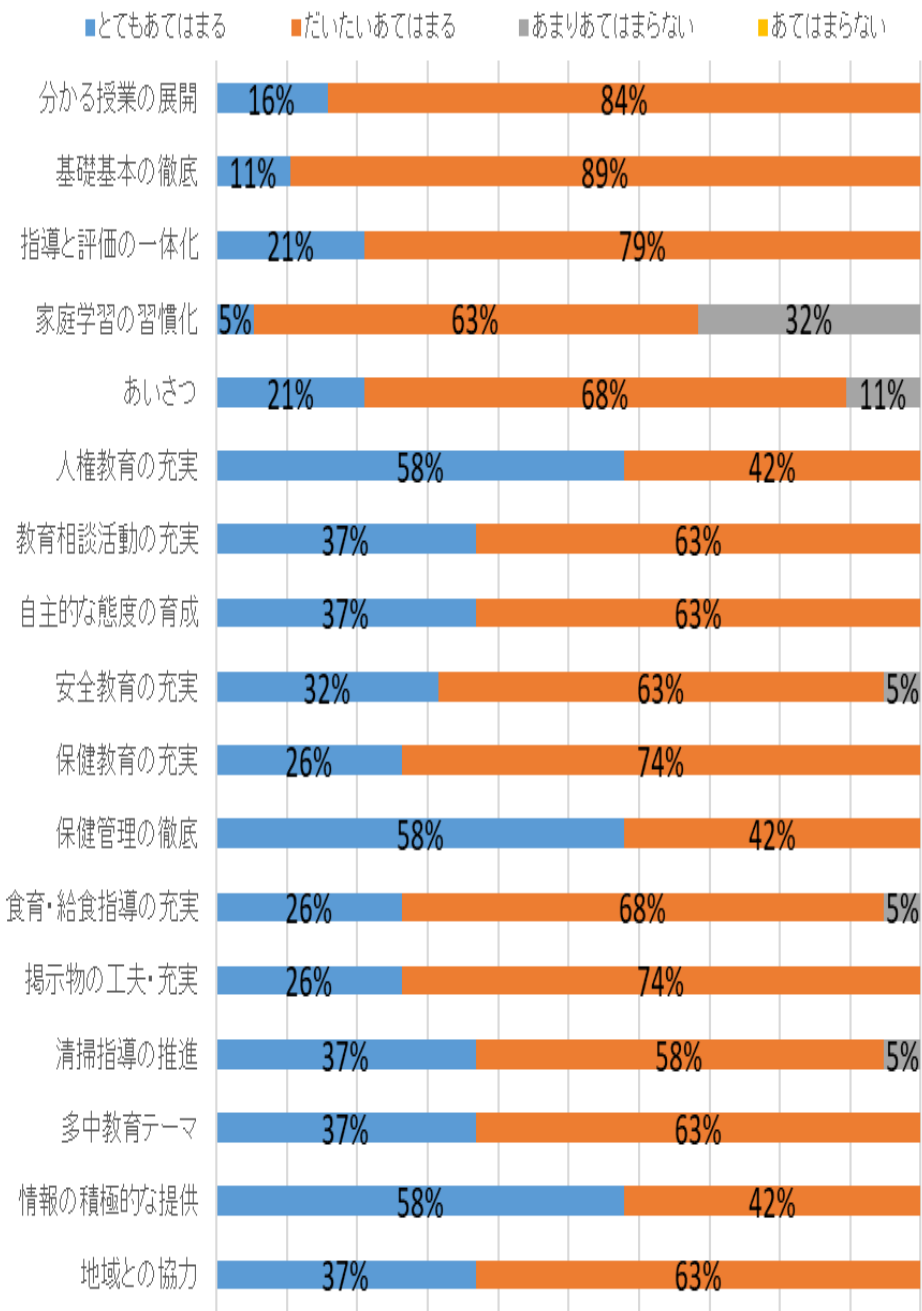
【生徒のアンケート】				評価平均	
NO		項 目		平均 (R6)	平均 (R5)
1	確かな学力の定着	(1)	先生方は、分かりやすく、一人一人の力を伸ばす授業を行っている。(熊本の学びを取り入れた)	3.3	3.3
		(2)	基礎・基本がしっかり身に付いていると思う。	3.0	3.0
		(3)	先生方は、生徒の能力や努力を適切に評価している。	3.4	3.3
		(4)	家庭学習の習慣が身に付いている。(Tタイムの活用)	2.8	2.9
2	豊かな心の育成	(5)	明るく、元気のよいあいさつができる学校である。(立ち止まりあいさつ)	3.1	3.3
		(6)	先生方は、いじめや差別をゆるさない心を育てる指導をしている。	3.6	3.5
		(7)	先生方は、生徒の悩みについてよく対応している。	3.3	3.3
		(8)	体育大会や文化祭、生徒会、合唱コンクールなどで、自主的な態度が身に付いている。	3.4	3.4
3	健康教育の推進	(9)	落ち着いて安全に登下校できている。	3.5	3.4
		(10)	先生方は、生徒の心やからだの健康づくりについて指導している。(学校体育、部活動)	3.5	3.4
		(11)	先生方は、生徒の体調が悪くなったとき適切に対応している。	3.6	3.6
		(12)	先生方は、給食を通して、食の大切さを教えている。	3.4	3.2
4	選いのある教育環境	(13)	教室や廊下等の掲示物がきちんとしている。	3.5	3.4
		(14)	掃除や美化活動に、積極的に取り組む雰囲気がある。(黙動清掃)	3.1	3.2
5	学校生活全般	(15)	学校教育スローガン「One for all,all for one.(ワンチーム&ワンハート多中)」であると感じる教育活動が行われている。	3.3	3.4
		(16)	学校は、学校だより・学年だより・学級だよりで、欲しい情報を提供している。	3.5	3.4
		(17)	学校は、地域の方々と協力しながら活動している。	3.4	3.3

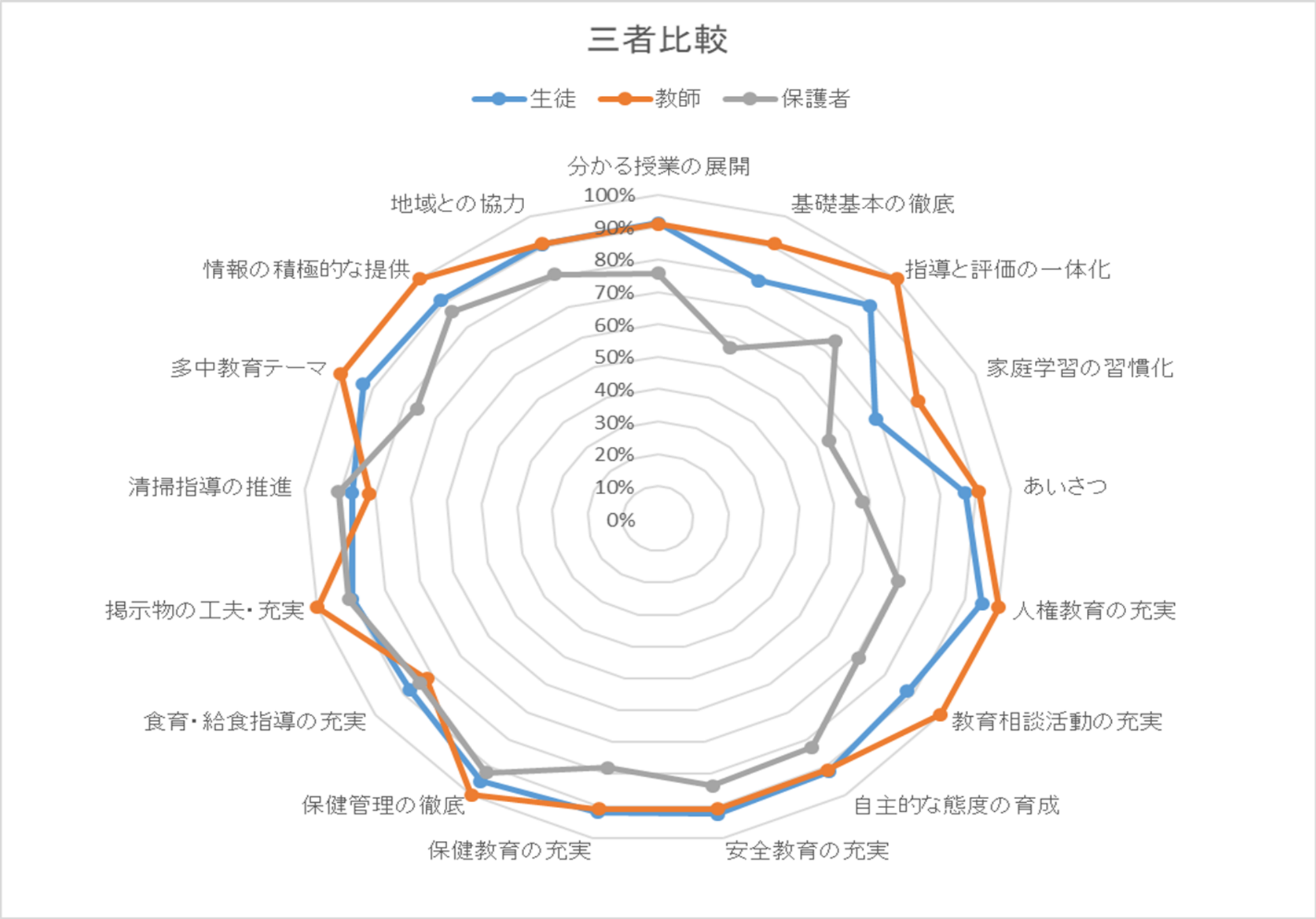


【保護者のアンケート】				評価平均	
NO		項 目		平均 (R6)	平均 (R5)
1	確かな学力の定着	(1)	学校は、分かりやすく、一人一人の力を伸ばす授業を行っている。(熊本の学びを取り入れた)	2.8	2.8
		(2)	子どもは、基礎・基本がしっかり身についていると思う。	2.4	2.6
		(3)	学校は、生徒の能力や努力を適切に評価している。	2.9	2.9
		(4)	家庭学習の習慣が身についている。(T タイムの活用)	2.4	2.5
2	豊かな心の育成	(5)	明るく、元気のよいあいさつができる学校である。(立ち止まりあいさつ)	2.5	2.6
		(6)	学校は、いじめや差別をゆるさない心を育てる指導をしている。	2.8	2.7
		(7)	学校は、生徒の悩みについてよく対応している。	2.7	2.8
		(8)	体育大会や文化祭、生徒会、合唱コンクールなどで、自主的な態度が身についている。	3.1	3.1
3	健康教育の推進	(9)	子どもは、落ち着いて安全に登下校できている。	3.1	3.1
		(10)	学校は、生徒の心やからだの健康づくりについて指導している。(学校体育、部活動)	2.9	2.9
		(11)	学校は、生徒の体調が悪くなったとき適切に対応している。	3.3	3.3
		(12)	学校は、給食を通して、食の大切さを教えている。	3.1	3.0
4	潤いのある教育環境	(13)	教室や廊下等の掲示物がきちんと整備されている。	3.3	3.3
		(14)	学校は清掃指導に力を入れ、美化が徹底されている。(黙動清掃)	3.2	3.2
5	学校生活全般	(15)	学校教育スローガン「One for all,all for one.(ワンチーム&ワンハート多中)」であると感じる教育活動が行われている。	3.0	3.0
		(16)	学校は、学校だより・学年だより・学級だよりを発行し、欲しい情報を提供している。	3.2	3.1
		(17)	学校は、地域と連携した教育を行っている。	3.0	3.0



【教師のアンケート】				評価平均	
NO		項 目		平均 (R6)	平均 (R5)
1	確かな学力の定着	(1)	分かりやすく、一人一人の力を伸ばす授業を行っている。(熊本の学びを取り入れた)	3.2	3.1
		(2)	基礎・基本がしっかり身に付く指導をしている。	3.1	3.2
		(3)	生徒の能力や努力を適切に評価している。	3.2	3.2
		(4)	家庭学習の習慣が身に付く指導をしている。(T タイムの活用)	2.7	2.8
2	豊かな心の育成	(5)	明るく、元気のよいあいさつができるように指導している。(立ち止まりあいさつ)	3.1	3.1
		(6)	いじめや差別をゆるさない心を育てる指導をしている。	3.6	3.6
		(7)	生徒の悩みについてよく対応している。	3.4	3.5
		(8)	体育大会や文化祭、生徒会、合唱コンクールなどで、自主的な態度を育成している。	3.4	3.4
3	健康教育の推進	(9)	落ち着いて安全に登下校できる指導をしている。	3.3	3.0
		(10)	生徒の心やからだの健康づくりについて指導している。(学校体育、部活動)	3.3	3.2
		(11)	生徒の体調が悪くなったとき適切に対応している。	3.6	3.5
		(12)	給食を通して、食の大切さを教えている。	3.2	3.0
4	潤いのある教育環境	(13)	教室や廊下等の掲示物をきちんと整備している。	3.3	3.3
		(14)	掃除や美化活動に、積極的に取り組む指導をしている。(黙動清掃)	3.3	3.1
5	学校生活全般	(15)	学校教育スローガン「One for all,all for one.(ワンチーム＆ワンハート多中)」であると感じる学校・学年・学級づくりをしている。	3.4	3.5
		(16)	学校は、学校だより・学年だより・学級だよりを発行し、情報を提供している。	3.6	3.4
		(17)	学校は、地域(コミュニティ・スクール等)と連携した教育を行っている。	3.4	3.0





＜アンケート結果の分析及び志向＞ ※番号は、アンケート番号と同じ

- 1 「**分かる授業の展開**」について、生徒・教師は、分かる授業を展開していることに相違はないが、保護者には差が見られた。各学期の授業参観の取組や学級通信等での啓発の工夫が必要である。学力向上対策及び定期テスト等の取組についても、生徒の成果が見られるような学年・学級の取組が必要と考える。
- 2 「**基礎・基本の徹底**」について、生徒・保護者・教師間に差が見られた。特に生徒と保護者は基礎・基本の定着においては、教師の意識よりも低く、教師は日常の取組はできているが、生徒への定着を確認する「みとり」を充実させていく必要があると考える。
- 3 「**指導と評価の一体化**」について、生徒・教師に相違はないが、保護者には差が見られた。教師は、日々の授業における評価の精度や授業改善を行う必要があるが、あらゆる教育活動の中で、生徒のがんばりを評価し、次の活動につながる手立てを考える必要がある。
- 4 「**家庭学習の習慣化**」について、生徒・教師間の相違はないが、保護者の意識に差が見られた。学校では、学習計画を立案させ、家庭学習のきっかけづくりを行っているが、実施状況の「みとり」をし、家庭にもその現状を伝え、連携を図ることが必要である。また、将来の展望をもたせるようキャリア教育の推進を図る必要もある。
- 5 「**あいさつ**」について、生徒と教師はあいさつができていていると感じているが、家庭ではあいさつができていない傾向が見られる。家庭や地域でも心を込めたあいさつができるよう生徒の意識を高め、凡事徹底を図るための方策を考える必要がある。
- 6 「**人権教育の充実**」について、生徒と教師は高評価であったが、保護者との意識には差が見られた。本校の人権教育に関する活動の啓発を行うとともに、人権旬間の取組、人権集会等の充実を図る。また、職員の生徒指導対応についても、生徒に寄り添いながら、早期発見・早期解決に向けて組織で対応する。
- 7 「**教育相談活動の充実**」について、生徒と教師は高評価であったが、保護者との意識には差が見られた。本校の悩みや困り感をもつ生徒への早期対応や教育相談活動の体制を見直すとともに、関係機関等の支援体制づくり、SC等のカウンセリング事業等について、随時啓発を図っていく必要があると考える。
- 8 「**自主的な態度の育成**」について、生徒・保護者・教師間に差が見られず高評価であった。体育大会・文化祭・合唱コンクール等の学校行事において、生徒の考えを実施計画に取り入れ、生徒実行委員会が主体的に活動を進めていく体制をつくった成果であると考え。今後も仲間づくりを核とした学校行事等を推進する。
- 9 「**安全教育の充実**」について、生徒・保護者・教師にあまり差が見られず高評価であった。引き続き、通学路点検、工事場所の周知、PTA 交通安全指導等を推進する。
- 10 「**保健教育の充実**」について、生徒と教師は高評価であったが、保護者との意識には差が見られた。本校の健康教育は、養護教諭及び体育主任を中心とした保健指導、体力づくり、部活動指導等であり、今後は、生徒のストレスマネジメントや性に関する指導の充実を考える必要がある。
- 11 「**保健管理の徹底**」について、生徒・保護者・教師間に差が見られず高評価であった。引き続き、朝の健康観察、体調変化への気づき、体調不良者への早期対応を行う。
- 12 「**食育・給食指導の充実**」について、生徒・保護者・教師間に差が見られず高評価であった。給食時のマナーも良く、残菜も少ない状況である。
- 13 「**掲示物の工夫・充実**」について、生徒・保護者・教師間に差が見られず高評価であった。生徒の動線上の掲示板や学年掲示板を準備し、生徒の成果等を掲示した。
- 14 「**清掃指導の推進**」について、生徒・保護者・教師間に差が見られず高評価であった。但し、約2割の生徒が黙働清掃に課題をもっており、対応策を考える。
- 15 「**多中教育テーマ**」について、生徒・教師・保護者ともに高評価であった。今後も本校の教育活動について、学校総体としての取組を充実させるとともに、家庭や地域と連携した取組の充実や生徒が安心・安全に生活できる学校環境の整備に努める。
- 16 「**情報の積極的な提供**」について、生徒・保護者・教師間に差が見られず高評価であった。HPの更新とともに、学級通信の定期的な発行に努める。
- 17 「**地域との協力**」について、生徒・保護者・教師は高評価であった。今年度は、職場取材学習、職場体験学習、ふびす祭り、S U P O ゴミ、クリーン大作戦等の取組を保護者や地域の皆様のご協力のもと実施した。今後も生徒・保護者・地域・行政・学校の五者一体となった教育活動を推進する。